

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. 生産管理	製造業の業務の流れ・役割を学び、業務改善の考え方を習得しよう！
生産・開発計画	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上

コースの ねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
-------------	---

対 象	(初任・中堅層向け) ・製造現場の知識を深めたい方 ・製造業の業務の流れを知りたい方
-----	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 製造業を取り巻く環境 ・産業革命から現在に至るまでの変遷 ・100年に一度と言われる変革期 外部環境変化に対応できなければ企業は存続できない。変化のスピードが加速度的に早まる現在、我々は何をすべきかを考察する【ワーク】 (2) 企業の役割 ・企業の役割 「社会の公器」である企業の役割を認識する ・ものづくり企業の仕事の流れと部門の役割 ・原価と利益の関係 売価は市場原理によって決まるため、企業は原価(三要素)を下げることで利益を生み出すことを理解する	1.5
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 製造業における優先順位 ・ESMQCDとその優先順位 製造業で管理すべきE(環境)S(安全)M(モラル/モラル) Q(品質)C(コスト)D(納期)とその優先順位を理解する (2) ものづくり現場の基礎は5S ・成果の上がる5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰) 5Sは製造業にとどまらずあらゆる仕事の基礎である。ここでは5Sの目的・狙いを知り、成果のあがる5Sの進め方を学ぶ (3) 無駄とはなにか ・無駄 ムラ ムリ ・トヨタ7つの無駄 ・ムダ(カタカナの無駄)とむだ(ひらがなの無駄) 無駄発見のしかたと無駄どりの進め方を理解する	1.5
	3	ものづくりに関する業務改善	(1) 動作経済の原則を体験する ・ピンボード演習【演習】 ピンボード教材を用い動作経済の原則の有効性を学ぶ。ここでは距離の遠近、片手作業と両手作業、判断の有無、分業と一気完結でどのような差が生じるかを体験する (2) 改善活動 ・ボールペン組立演習【演習】 ボールペンの組立を、レイアウト、作業方法、治具などを工夫し、安全かつ速く生産できる方法をグループ毎に考え実施する。これにより改善の重要性と効果を肌で理解する (3) 改善活動の進め方 ・すぐやるべき改善と計画的に行う改善 ・巧遅拙速(こうちせつそく)を尊ぶ (4) 改善マインド ・改善力は「手法」*「マインド」 ・まとめとグループ討議【ワーク】	3.0
演 習	・3(1) ピンボードによる動作経済の原則体験 ・3(2) ボールペンを用いた改善実践体験		(基本項目に含む)	
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント	座学+体験型で生産性向上の考え方や進め方を楽しく学べるカリキュラムとした。演習の内容はピンボード教材による動作経済の原則の理解に加え、ボールペン組み立て演習で実際にチームで改善活動を行い成果を体感してもらう。また一方的な講義ではなくディスカッションを多く取り入れることで全員の認識を合わせるとともにコミュニケーションの大切さを学ぶ。また改善は手法と同等或いはそれ以上にマインドが重要であるが、これについて先人の教えをわかりやすく解説する
---------------	--

備考	
----	--